

医学部

医学部は医学科と看護学科から構成されています。医学科の6年間では医師になるための医学を中心に学びます。看護学科では4年間で看護師、保健師、養護教諭などの看護職(保健師、養護教諭は選択制)になるための看護学を中心に学びます。出張講義では、医学、看護学に関する話題を分かりやすくお話しします。7月に県内の東予地区と南予地区で1回ずつ、両学科による出張講義を予定しています。中予地区では、オープンキャンパスの際に実施します。

医学部では、重信キャンパス(東温市)において5月に医学祭、8月にオープンキャンパスを開催しています。学部の様子、医学科や看護学科での学習の詳細などを紹介しています。実際に医学部に在籍する学生と直接話のできるプログラムも用意しています。これらの機会もぜひご利用ください。

※なお、上記の出張講義及びオープンキャンパス、医学祭等の行事の実施については変更となる場合があります。

医学部

講義番号	教員氏名	講義テーマ
1	医学科教員 プロテオサイエ ンスセンター教 員	医学科で学ぶこと、医学科で学ぶ前に考えて欲しいこと
2	看護系教員	看護学科で学ぶこと、これからの看護職者としての役割
3	陶山 啓子	高齢者の暮らしを支える地域医療
4	山内 栄子	がんとともに生きる、そのとき看護には何ができるのか
5	藤村 一美	地域社会と健康
6	永田 明	看護学と健康
7	二井谷 真由美	愛媛県における「心不全」の予防
8	吉田 美由紀	「生きる」を支える地域医療とは
9	柴 珠実	メンタルヘルスリテラシーを身につけよう
10	宮内 清子	月経のおはなし～昔と今、対処方法
11	小岡 亜希子	中山間地域の暮らしを支える看護

No. 1

【講義テーマ】／担当教員	医学科教員，プロテオサイエンスセンター教員	講義時間／受講人数	
医学科で学ぶこと、 医学科で学ぶ前に考えて欲しいこと		講義時間	50分
		受講人数	制限なし
<p>医師になるということとはどんなことなのでしょう？ そのために医学科ではどんなことを学ぶのでしょうか？そして医師を目指す高校生として、どんなことを考えておかなければならないのでしょうか？</p> <p>この講義では、医学科1回生対象の講義をモデルとして模擬授業を行います。これは教員が教えるのではなく、皆さん自身に考えてもらう授業です。授業では皆さんの質問に答えつつ、幅広いテーマを扱います。例えば「医学の進歩によって人類はどのように幸福になったのだろうか？」「患者と医師との関係はどのようなものが理想的だろうか？」「地域で活躍する医師とはどのような医師だろうか？」あるいは「医学部の教員や学生はどんな研究をしているのか？すべきだろうか？」等です。テーマについて自らの意見を持ち、積極的に考えようとする生徒さんを歓迎します。</p> <p>総合型選抜の説明のため、愛媛県内の高等学校等への出張講義のご要望を受け付けます（ただし、リモート開催になる可能性があります）。また、7月に東予地区と南予地区で1回ずつ、両学科による出張講義を計画しています。この際、学校案内を別途行っています。また、中予地区はオープンキャンパスの際に実施します。</p> <p>※上記の東予地区と南予地区での出張講義及びオープンキャンパスの実施については変更となる場合があります。</p> <p><input type="checkbox"/>実施校において準備が必要なもの プロジェクター、スクリーン (リモート開催の場合はインターネット環境等が必要となります。)</p>			

No. 2

【講義テーマ】／担当教員	看護学教員（看護学科長、教務委員長ほか）	講義時間／受講人数	
看護学科で学ぶこと、 これからの看護職者としての役割		講義時間	50分
		受講人数	上限40人
<p>看護学科で学ぶことは、看護師になるということだけの学習ではありません。では、どのようなことを、どのように学ぶのでしょうか？</p> <p>「看護」とは人々の健康な生活や幸せな人生を支えることを目標に、病める人々にはその苦痛を緩和し健康を回復するために、健康な人々にはより健康な生活を支援する機能を持ちます。看護学科で学ぶことについて、そして、看護の果たす機能や、これからの看護に対する展望を参加者の質問に答え、一緒に学びます。</p> <p>講義実施期間については、看護学実習等で、教員が学外に出られる期間が限定されます。個別の学校への出張講義は、ご希望に添えない場合があります。</p> <p>医学部として、両学科で、東予地区、南予地区で1回ずつ出張講義を計画しています。その機会をご利用ください。</p> <p>中予地区は8月のオープンキャンパスをご利用ください。</p> <p>※上記の東予地区と南予地区での出張講義及びオープンキャンパスの実施については変更となる場合があります。</p> <p><input type="checkbox"/>実施校において準備が必要なもの プロジェクター、スクリーン</p>			

No. 3

【講義テーマ】／担当教員	地域健康システム看護学 陶山 啓子	講義時間／受講人数	
高齢者の暮らしを支える地域医療		講義時間	50分
		受講人数	上限40人
<p>みなさんご存じのように、我が国は世界一の長寿国です。この長い人生を最後まで豊かに暮らすためには、どうすればよいのでしょうか？誰もが住み慣れた地域で自分らしい暮らしを維持することを望みます。</p> <p>医療体制が、「ずーっと在宅、時々病院」に変化する中で、健康障害をもつ高齢者が在宅での生活を取り戻し維持するためには、暮らしを支える専門職である看護師が重要な役割を果たします。看護に何ができるか、看護の力を事例を通して紹介します。</p> <p><input type="checkbox"/>実施校において準備が必要なもの プロジェクター、スクリーン</p>			

No. 4

【講義テーマ】／担当教員	基盤・実践看護学 山内 栄子	講義時間／受講人数	
がんとともに生きる、 そのとき看護には何ができるのか		講義時間	50分
		受講人数	上限40人
<p>がんの罹患率は増加し、いまや、がんは2人に1人がかかる病気となりました。しかし、がんの死亡率は減少しています。つまり、がんとともに生きる人が増えているということです。</p> <p>がんという病気に自分が罹ったとき、大切な誰かが罹ったとき、人はどのように生きていくのでしょうか。がんとともに生きるということ、そしてそのとき看護には何が期待され、何ができるのかということ、皆さんと一緒に考えたいと思います。</p> <p><input type="checkbox"/>実施校において準備が必要なもの プロジェクター、スクリーン</p>			

No. 5

【講義テーマ】／担当教員	地域健康システム看護学 藤村 一美	講義時間／受講人数	
地域社会と健康		講義時間	50分
		受講人数	上限40人
<p>健康は、遺伝子や生活習慣など生物学的要因だけでなく、その人の社会経済的状況、人や社会とのつながりや社会の仕組み等の社会的要因によっても左右されることが明らかになっています。つまり、私たちを取り巻く「社会との関係」や「地域や社会のあり方」は、私たちが健康な生活を送ることができるかどうかに対して強い影響を与えると考えられます。</p> <p>私たちの健康を守るためにより良い社会を構築することが望まれますが、そのために看護職ができることはどのようなことなのか、一緒に考えていきたいと思ひます。</p> <p><input type="checkbox"/>実施校において準備が必要なもの プロジェクター、スクリーン</p>			

No. 6

【講義テーマ】／担当教員 基盤・実践看護学 永田 明

看護学と健康

講義時間／受講人数

講義時間 50分

受講人数 上限50人

看護師という存在は、多くの人々が認知していることは疑いありません。しかし、その基盤となっている「看護学」という学問はどのような哲学や理論によって構築されているかは、知らない方々が多いと思います。そこで看護学とはどのような学問で、その中で「看護」をどのように位置づけているかをわかりやすくお話しします。

また、看護学の焦点である「健康」を論じている代表的な学説を紹介しながら、自分達の「健康」について一緒に考えたいと思います。

□実施校において準備が必要なもの

プロジェクター、スクリーン

No. 9

【講義テーマ】／担当教員 地域健康システム看護学 柴 珠実

メンタルヘルスリテラシーを身につけよう

講義時間／受講人数

講義時間 50分

受講人数 上限50人

メンタルヘルスに関する知識やスキルを正しく理解して使う能力のことをメンタルヘルスリテラシーといいます。こころの病気にかかる可能性は誰にでもあります。自分自身や周りの人々のこころの健康増進のために、一緒に学びましょう。

□実施校において準備が必要なもの

プロジェクター、スクリーン

No. 7

【講義テーマ】／担当教員 基盤・実践看護学 二井谷 真由美

愛媛県における「心不全」の予防

講義時間／受講人数

講義時間 50分

受講人数 上限50人

「心不全」は、心臓のポンプの働きが低下したために、息切れやむくみが起こり、だんだん悪化して生命を縮めることになる病気です。実は愛媛県は、この「心不全」によって亡くなる人がとても多い状況にあります。何故、愛媛県で心不全によって亡くなる人が多いのか、その理由は分かっていませんが、心不全の原因や悪化予防の方法等について学び、愛媛県の心不全死亡率を低下させるために、今、できることを考えてみましょう。

□実施校において準備が必要なもの

プロジェクター、スクリーン

No. 10

【講義テーマ】／担当教員 基盤・実践看護学 宮内 清子

月経のおはなし～昔と今、対処方法

講義時間／受講人数

講義時間 50分

受講人数 上限50人

月経は女性の身体に生じる現象で、昔は「我慢するもの、月経の話をするのは恥ずかしい」ととらえられていました。妊娠や出産をしない場合、初潮から閉経約50歳までの間に、毎月の月経は合計600回にも及びます。気の遠くなるような事ですが、女性の心身のリズムを守る利点もあります。しかし、現在、月経によって心身のバランスを崩す女性が多いことも事実です。月経について正しい知識を持つことは健康と生活の質の向上に役立ちます。

講義では、男女問わず高校生に知っておいて欲しいことをお伝えしたいと思います。

□実施校において準備が必要なもの

プロジェクター、スクリーン

No. 8

【講義テーマ】／担当教員 地域健康システム看護学 吉田 美由紀

「生きる」を支える地域医療とは

講義時間／受講人数

講義時間 50分

受講人数 上限50人

地域医療は、患者さんがその人らしく「生きる」ことを支える医療です。看護師をはじめとする医療者は、多職種と連携しながら患者さんの痛みや不安を和らげ、家族と過ごすかけがえのない時間や笑顔を守り続けています。この講義では、人が自分らしく「生きる」ことを支えるために、医療者を含む多職種がどのように寄り添っているのかを紹介します。人の「生きる」を支える仕事の奥深さと温かさに触れながら、「生きる」を支えるために地域医療に求められることは何かを、一緒に考えてみましょう。

□実施校において準備が必要なもの

プロジェクター、スクリーン

No. 11

【講義テーマ】／担当教員 地域健康システム看護学 小岡 亜希子

中山間地域の暮らしを支える看護

講義時間／受講人数

講義時間 50分

受講人数 上限50人

中山間地域の看護には、病気を治すだけでなく「暮らしを支える」という大きな魅力があります。病院や商店が遠くても、訪問看護や健康相談を通じて安心を届け、自然豊かな環境での生活を守ります。さらに、人と人とのつながりを大切に、地域に寄り添うことで住民の笑顔を生み出す力にもなります。では、もし自分の家族が山あい暮らししていたら、どんな支えが必要になるのでしょうか。看護職にできることはどのようなことなのか、みなさんと一緒に考えてみたいと思います。

□実施校において準備が必要なもの

プロジェクター、スクリーン